

群馬県作業療法士会 2024 年度第 6 回理事会 議事録

日 時：2025 年 3 月 26 日(水)19:00～21:00
会 場：Zoom によるオンライン開催
参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、小林、柴田、高橋、都丸、長谷川、吉岡、李(50 音)

【各部報告・審議事項】

1. 新井会長

- 1) 第 9 回北関東信越ブロック学会の日程決定
第 9 回北関東信越ブロック学会・第 40 回長野県作業療法学術大会が、長野市 若里市民文化ホールを会場に、2025 年 7 月 19-20 日の日程で開催されることが決定した。
- 2) 都道府県作業療法士会「倫理問題担当窓口」の見直しに関する意見交換会への出席
2025 年 3 月 1 日に都道府県作業療法士会「倫理問題担当窓口」の見直しに関する意見交換会が開催され、新井会長、長谷川事務局長、石森副事務局長が参加した。
- 3) 2024 年度第 4 回協会長・都道府県士会長会議（よんぱち）への出席
2025 年 3 月 2 日に第 4 回協会長・都道府県士会長会議（よんぱち）が開催され、新井会長が参加し、山口副会長がオブザーバー参加した。
- 4) 群馬パース大学卒業証書・学位記授与式への参列
2025 年 3 月 7 日に群馬音楽センターで執り行われた、群馬パース大学卒業証書・学位記授与式に新井会長が参列した。
- 5) 群馬県地域リハビリテーション協議会への出席
2025 年 3 月 12 日に開催された第 27 回群馬県地域リハビリテーション協議会に新井会長が出席した。

2. 教育部 [担当：勝野・今村／報告者：教育部部長・今井卓也]

【報告事項】ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

2/18、3/13 にリモート会議を実施。

- 1) 令和 6 年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

①現職者研修現職者共通研修 「職業倫理」

日時：2025/1/22 講師：長谷川事務局長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
現職者共通研修 「日本と世界の作業療法の動向」

日時：2025/2/26 講師：新井会長
上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

現職者選択研修 「精神障害領域」

日時：2025/2/9 開催方法：オンライン研修

講師：米原 OTR (上之原)、鈴木 OTR (群馬医療)、

滝沢 OTR (郡大病院)、大嶋 OTR (ふくる)

上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

②基礎ポイント研修 なし

2) 令和 7 年度 新人症例発表会

日時：令和 7 年 7 月 20 日

会場：群馬医療福祉大学（対面開催）

統括：須田ブロック長（館林厚生病院）、金高 OTR (療育

センターきぼう）

各ブロック担当：北中毛→前橋日赤病院（矢吹 OTR）

西毛→群馬整肢療護園（吉田ブロック長）

東毛→館林厚生病院（須田ブロック長、糸井 OTR）

発表者：46 名（査読希望者 1 名）

上記内容で研修会を開催予定。

3) その他

①次年度の研修について

現職者共通研修 8 コマ、現職者選択研修(発達)、基礎ポイント研修 2 コマの企画を予定する。

②新生涯教育制度について

令和 7 年度から OT 協会の新生涯教育制度が開始予定。まだ未確定のことも多いため、詳細が分かり次第、必要な準備をすすめる。

③Peatix について

令和 7 年度のオーナー・サブオーナーを下記へ決定。変更準備をすすめる。

・オーナー：黒田・今井

・サブオーナー：山ノ内ブロック長・須田ブロック長

④県士会裁量ポイントについて

粕川研修企画 G 長が戸部 SG 長へ教育部の名簿を提出する。

⑤令和 7 年度の名簿について

各ブロック長は令和 7 年度の名簿を 4 月末までに粕川研修企画 G 長へ提出する。

【審議事項】 なし

3. 広報部 [担当：都丸 部長 土岐]

【報告事項】

1) 公益事業グループ (グループ長:中澤)

来年度に向けての広報活動について部会を開催予定。ノベルティグッズはボールペンを発注済み。来年度の広報活動にて配布予定。

2) ニュース編集グループ (グループ長:大脇)

①1 月号の発行が終了し、次回 4 月号の発行準備中。

②記事の掲載依頼等ありましたら下記アドレスにお願いいたします。

送付先：介護老人保健施設うららく ニュース編集 G 長大脇 daxiezongya@gmail.com

3) 広報企画グループ(グループ長:金子) 公益事業 G と合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

【審議事項】 なし

4. 学術部 [担当：李・吉岡 部長：近藤]

【報告事項】

1) 学術研究グループ (佐藤グループ長)

①学術研究グループの勉強会を 9 名の参加者に対し、これまでに 6 回実施した。

②全国 OT 学会（高松）の演題登録に向けた支援を 2 名の参加者に対し行った。

2) 学会支援グループ (秋山グループ長)

①次期学会の講師依頼の公文書作成、広報用 SNS アカウントの運用等について支援を実施した。

3) 機関誌編集グループ (柳井グループ長)

①機関紙「ぐんま作業療法研究」投稿論文の締め切りを

2 月末日から 5 月末日に延長した。

②機関紙「ぐんま作業療法研究」の投稿規定/執筆要領の改訂原案は理事会の承認を受け、改訂について学術部内にて確認作業を実施している。

【審議事項】

①「群馬県作業療法学会開催規定の一部改正」について

群馬県作業療法学会開催規程を改正することを審議したい。

群馬県作業療法学会開催規定

(目的)

第 1 条 本規程は、群馬県作業療法学会について定める。

(名称及び実施方法) 第 2 条 群馬県作業療法学会は、「第〇回群馬県作業療法学会」と称する。

1. 群馬県作業療法学会は、年 1 回開催することとし、日程は原則として 9 月第一週の土曜もしくは日曜の 1 日間、または連続する土曜、日曜の 2 日間とする。

2. 学会長ならびに実行委員会が任意の期間において学会開催する場合、学術部としては原則、学会誌印刷のみを行うものとし、運営にかかる実務は学会実行委員が担うものとする。

3. 開催は中央北毛ブロック、西毛ブロック、東毛ブロックの順で担当し、原則として担当ブロック域内で開催する。

4. 学会長の決定は、開催担当ブロックで選定した後に学会長の了承を得た上で理事会にて決定する。

5. 学会は、一般演題、講演、ワークショップ、シンポジウム、機器展示、その他を学会長が必要に応じて構成する。

(学会実施のための委員会) 第 3 条 群馬県作業療法学会を実施するため、学会長は実行委員会を設置する。実行委員会は当該の大会が終了し、必要な残務処理が終了するまで存続する。

1. 実行委員会には委員長を置く。

2. 実行委員会は、当該学会実施の責任を負う。

3. 学会長もしくは実行委員長は学会担当理事ならびに学術部学会支援グループと連携を取り、円滑な業務の推進を図る。

4. 学会長もしくは実行委員長は学会の開催に関する事項を理事会に報告する。

(開催費用) 第 4 条 学会開催のため、必要に応じ、学会実行委員会に学会予算に従い仮払いする。

2. 学会実行委員会は、学会開催後、学術部学会支援グループと連携し、学会報告書を作成し、理事会に提出する。仮払金は精算の上、残金全額および余剰金があれば余剰金全額を戻入する。

(学会誌) 第5条 学会プログラム、演題抄録、演題抄録などを掲載した学会誌を作成する。

(演題受付) 第6条 学会における一般演題発表者は群馬県作業療法士会の正会員ならびに賛助会員、または日本作業療法士会の正会員に限る。該当しない者は、演者(筆頭)としての応募資格はないが、演者(共同)としての応募は可能である。ただし、群馬県作業療法学会学長および実行委員会の承認が得られる場合は、演者(筆頭)として応募可能である。

(著作権) 第7条 学会誌掲載の各論文等の著作権は、群馬県作業療法士会に帰属する。(参加費・謝礼金)

第8条 学会の参加費の詳細については、別途、大会開催マニュアルに定める。

2. 各講演に関して、講師には群馬県作業療法士会支配基準に準じて支払いを行う。詳細については、別途、大会開催マニュアルにて定める。

(その他)

第9条 大会開催の詳細については、別途、大会開催マニュアルにて定める。

(規程の改廃) 第10条 本規程の改廃は理事会の議による。

附則

1. この規程は平成25年4月1日より施行する。
2. この規程は令和6年1月31日に一部改正、同日より施行する。審議結果：群馬県作業療法学会開催規程を改正することが承認された。

5. 運転と作業療法特設委員会 [担当：李]

【報告事項】 なし 【審議事項】 なし

6. 福祉用具委員会 [担当：石森]

【報告事項】

1) 福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況
令和7年3月21日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は76件、相談件数は3件。生活行為工夫情報事業は2件であった。引き続き事業内容について周知していく。

2) 福祉用具関連の研修依頼への対応について
①令和7年2月7日群馬県介護支援専門員協会と合同研修を開催した。講師は美原記念病院 石森卓矢。参加人数は、介護支援専門員・主任介

護支援専門員が17名、作業療法士が10名、福祉用具専門相談員2名で合計29名であった。

②令和7年3月6日に西毛ブロックを対象に福祉用具についての研修会を開催した。講師は美原記念病院石森卓矢。参加人数は作業療法士41名であった。3) 令和6年度 福祉用具相談支援システム運用事業合同業務連絡会について日本作業療法士協会生活環境支援室の会議が3月15日に開催され、石森卓矢、一場弘行が参加した。

【審議事項】 なし

7. 養成校連絡協議会 [担当：高坂、小林、木村]

【報告事項】

1) 第3回養成校連絡協議会会議を実施した。

- ①活動報告、決算、事業計画、予算について検討した。
- ②次年度も学生事業アンケート継続。調査結果のフィードバックは検討継続する。
- ③新年度学生会員の募集や管理について確認
- ④学生交流会の実施検討
- ⑤2025年度臨床実習指導者講習会開催予定(太田医療技術専門学校)

【審議事項】 なし

8. 地域局 [担当：柴田・今村・小此木・山浦]

【報告事項】

1) 北中毛ブロック支部

- ①二次医療圏渋川地域の担当者が家庭の事情により辞退する。現在、次の担当者を選定中。適任者がいた際は紹介がほしい。
- ②前橋市地域リハビリテーション協議会に木村理事が参加した。

2) 東毛ブロック支部

- ①2月25日 主任者会議実施 7施設7名。
- ②太田市宝泉介護予防教室への講師派遣手配を行った。
- ③伊勢崎市介護認定審査委員の斡旋を行った。

3) 西毛ブロック支部

- ①2月6日に地域包括ケアフェスティバル in 高崎の振り返り会議に山浦が参加。現段階では次年度も開催予定で、参加団体予定として作業療法士会は含まれている。
- ②3月6日に石森卓矢氏を講師として、作業療法士に対する福祉用具の研修会をオンラインにて開催した。参加者は41名であった。

4) 全体 なし

【審議事項】 なし

9. 福利厚生部 [担当：小此木、部長 設楽]

【報告事項】

1) 優秀学生賞

各養成校の教員の皆様の協力もあり、今年度もパース大学を含む5校に対して実施、または実施予定となっている。

今後の表彰状作成は外注となる予定。

【審議事項】 なし

10. 訪問リハビリテーション学術大会 in 群馬

[担当：小此木]

【報告事項】 事前参加登録が開始された。

徐々に企業展示やランチョンセミナーなど集まってきたが、まだ少ない。4月3日に全体の実行委員会があり情報共有予定。

当日の運営も人数が足りないためこれから募集をかけていく。引き続き、企業様など知っている方がいたら連絡がほしい。

【審議事項】 なし

11. 地域作業療法推進部 [担当：高坂、吉岡]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

①2月13日、3月13日 地域包括ケア推進グループ定例会議を開催した。

②2月18日 広報部との連携会議を実施した。山口、笹谷が参加した。

③3月9日 第3回地域支援事業会議が行われ、選任者として高坂理事、山口、聴講者として山浦理事、今村理事が参加した。

④3月15日 介護予防に資する指導者人材育成研修を開催した。参加者は12名であった。会場は群馬医療福祉大学をお借りし対面形式で行った。

⑤3月17日 地域局と合同会議が開催され、高坂理事、山浦理事、山口、笹谷が参加した。

⑥3月18日 関東信越ブロック会議が開催され、高坂理事、山口が参加した。

⑦次年度、広報部と連携し、OT啓発活動を推進していく方向で検討している。

2) 認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

①2月8日 第2回認知症ケア資質向上の為の研修会を実施した。参加者は38名であった。

②3月7日 開催予定の座談会は参加者なしのため中止となった。

③3月7日付で県へ清算書類を郵送・メールで提出した。

④1月26日・2月23日 「認知症の人と家族の会」のつどいに笹谷グループ長が参加した。

3) 精神科領域推進グループ（米原グループ長）

①1月25日 「精神科作業療法における作業に根差した実践とその工夫」をオンライン開催し、申込者33名（県内14名）、当日参加者31名であった。

②3月1日 「精神×発達 作業療法士のコラボレーション座談会」を対面開催し、参加者26名（精神8名、発達

12名、学生6名）であった。

③3月15日 日本作業療法士協会主催「精神科領域における現状と課題/実践に関する意見交換会」にグループ員が参加した。

④精神障害領域の施設に所属する県士会員対象に職能団体の入退会に関するアンケート調査を実施する。

⑤SNSの投稿を継続的に行っている。SNSフォロワー数は増加している。（Instagramフォロワー116 X フォロワー20）

4) 発達支援推進グループ（小田グループ長）

①1月31日 研修企画委員会を行った。次年度の研修企画について検討した。

②2月1日 関東小児OT交流会（千葉県作業療法士会主催）が開催された。当士会から選任者として小田（現地）、吉岡理事・六本木氏・中嶋氏（zoom）が参加した。来年度群馬県士会を主催として、交流会を実施していく予定となった。

③2月9日 幹部会議を実施した。来年度の事業計画、予算案について検討した。予算案原案、役割分担等について検討、予算案原案の決定、役割分担については、内諾を得られるよう打診していく事が決まった。

④来年度新規事業として、①5歳児健診の情報収集と体制づくり②学童保育の支援事業（仮称）（高崎市で助成金が出る予定との事）の体制づくりと支援の実施を予定する。

⑤2月21日 「小児科医と作業療法士が連携して支える発達特性のある子どもの成長と課題～地域で子どもの未来を育む支援とは～」を開催（対面とズーム開催）した。参加者は88名（部員17名、県士会員21名、他OT県士会員20名、群馬県内OT学生17名、群馬県内PT、

ST13名) であった。事業収入は¥77,181となつた。

⑥3月1日「精神×発達 作業療法士のコラボレーション座談会」を対面開催し、参加者26名(精神8名、発達12名、学生6名)となった。

⑦3月17日 研修企画委員会を実施し、来年度の研修会の企画運営について話し合う予定である。

【審議事項】

1) 地域包括ケア推進グループ

①前橋市地域ケア個別会議の傍聴案内の掲載について(別紙参照)

前橋地域リハビリテーション広域支援センターより、前橋勤務の作業療法士向けに自立支援型地域ケア個別会議の傍聴の案内があった。県士会HPやFacebook等で案内してもよいか。

審議結果:県士会HPやFacebook等で案内することについて承認された。

2) 発達支援推進グループ

①外部専門家派遣事業の同伴者への謝金について審議をお願いしたい。

外部派遣事業では、派遣者には謝金が発生しているが、同伴者には謝金等は規定されていない。新規の派遣者を増やしていく為に同伴者への謝金の検討をお願いしたい。

〈案〉群馬県作業療法士会講師謝金支払い基準の助手

(半日扱い) 4,000円+交通費 審議結果:上記案で承認された。

12. 事務局 [担当:長谷川・石森]

【報告事項】

1) 群馬県作業療法士会創立40周年記念式典実行委員発足に関する会議報告

①名称:『群馬県作業療法士会創立40周年記念式典』を正式名称とする。

以降、文書等はすべてこの表記に統一する

②組織化:実行委員会組織化について結果:2025年3月の理事会で実行委員会を県士会特設委員会として設置することを審議

③開催時期:2026年6月総会と合同開催を軸に予定を調整する

④開催規模・内容

- ・特別講演の実施あり
- ・祝賀会の開催あり
- ・記念誌の作成は50年式典に合わせる方向で、今回は見送り

- ・代理店との提携については検討を開始する
- ・およその予算としては100~150万円ほど

2) 総会及び令和7年役員改選選挙について

①立候補並びに推薦受付期間

令和7年4月14日(月)~5月19日(月)(当日消印有効)所定の期日までに立候補の届け出の処理等をお願いいたします

3) 事務局員加藤さんの退職について加藤さんより、2026年3月末で退職希望あり。

2026年度については、新たに事務局を雇用する。求人については、事務局にてHPに求人募集など対応していく。

【審議事項】

1) 選挙管理委員会委員長の退任及び後任の人事について(現)選挙管理委員長:上毛病院の星野様

以前から、退任の意向あり。

後任)群馬大学医学部附属病院 須藤愛実氏

内諾あり 審議結果:選挙管理委員長の人事について上記内容で承認された。

2) 特設委員会 群馬県作業療法士会創立40周年記念式典実行委員会の設置について

40周年記念式典実行委員会を県士会特設委員会として設置する。

審議結果:2026年度末までの期限付き特設委員会として設置することが承認された。

3) 総会の日時・会場等

①会場・日時について日時:令和7年6月22日(日)午後

開始時間:15:10~16:00

会場:公益財団法人脳血管研究所 てんぼくホール

〒372-0048 群馬県伊勢崎市大手町1-1

②第26回群馬県作業療法学会特別講演代替講演について演者:平石武士様

開催時間:13:30~15:00

審議結果:上記内容にて総会の開催準備を行つていて承認された。

4) 会費減免事業の継続について

会費減免事業を来年度以降も継続して良いか検討したい。 審議結果:会費減免事業を来年度以降も継続することが承認された。

13. 財務部 [担当:高橋・小林]

【報告事項】

1) 来年度予算案について

2) 決算・出納帳・支払について

4月5日が締め切りとなっており、期限厳守で
お願いしたい。

3) その他

日本作業療法士協会非会員となっている群馬県
作業療法士会員へ日本作業療法士協会へ再入会す
るよう促していく。

【審議事項】 なし

14. 第27回群馬県作業療法学会 [担当:木村]

【報告事項】

1) 第1回実行委員会を実施し、情報共有と協
力依頼を行った。

2) 基調講演依頼の書類発送完了、一般演題募
集の書類作成中。

3) 前回の検討事項として挙がった参加費は以
下の通り

(協会員、県士会員: 1000円 非会員、他職種:
2000円 実行委員、一般、学生無料)

4) 参加者の非会員と一般との線引きについ
て、例年通り、本人からの自己申告とする。

5) 参加費の徴収方法について、参加申込フォ
ーム入力後に学会の銀行口座を提示し、そこに入
金を依頼。振込確認ができる次第、ZoomIDとパスコ
ードを申込時に入力してもらったメールアドレス
へ発送。(OT学会と同様)

【審議事項】 1) 参加費徴収のために、現在持つて
いる学会専用の銀行口座情報の提示をしても良い
か。

審議結果: 学会専用の銀行口座情報を提示するこ
とが承認された。

その他連絡事項:

1) 群馬県の認知症に係る県民向け講座教材開発・
作成事業が検査を通過し、50万円が振り込まれ
た。別紙のとおり、認知症に係る県民向け講座教材
開発・作成事業で納品し受理された。今後、県のホ
ームページ等で公表される予定。

2) 次回 理事会未定